



# おおくぼ

令和2年12月25日第9号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子120名女子114名 計234名

学校教育目標 **ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく**  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

## 隣には希望が

### 校長 金子 要一

いよいよ今年も終わりに近づきました。歴史的な年になった令和2年も、もうすぐ終わります。かと言って年が変わっても状況が劇的に変わることはないでしょうが、何とか**良い方向**に向かって欲しいものです。令和3年が**良い年**になることを祈ります。

さて、今年1月の学校だよりには「**チャレンジする年にしましょう**」と書きました。今年の干支（えと）の「**子（ね：ねずみのこと）**」は干支の一番目であることから、新しい物事や運気のサイクルが始まる年と言われ、この機会に習い事やスポーツ、趣味など**新しいことを始めると良い**という内容です。しかし、チャレンジして成功するには、ただ待つのではなく、**積極的に取り組む**ことが大切だとも書きました。久しぶりに学校だよりを読み返していたら、漫画家の**やなせたかしさんの詩**を思い出しました。

「**アンパンマン**」の作者であるやなせさんは94歳でお亡くなりになりましたが、漫画の世界で認められたのが60歳頃ということです。それまで**何度も挫折（ざせつ）**を味わったそうです。それでもやなせさんは、**くじけず、諦めることはありません**でした。

#### 絶望の隣に

だれかが そっと腰かけた

絶望は

となりのひとにきいた

「あなたはいったいだれですか」

となりのひとはほほえんだ

「私の名前は 希望です」

（『絶望の隣は希望です！』から）

そんなやなせさんが残したのが左の詩です。だれにでも、たとえ「**絶望**」であっても、その**隣には「希望」**がやって来ると、この詩は教えてくれます。度々挫折に襲われてもくじけなかったやなせさんが作ったからこそ、この詩に**勇気づけられます**。そして何より、やなせさん自身が辛い時をこう思いながら**歯を食いしばって乗り越えた**のかも知れません。

この詩では、希望の方から隣に来てくれますが、実際はどうでしょう。そうやすやすと

来てくれるものでしょうか。待っていればいずれ来てくれるのかも知れませんが、それでは来て欲しい時に来てくれるとは限りません。

やはり、**自分から希望に向かう**ことで確実に近づけるのではないのでしょうか。それには、何事にも**チャレンジ**です。**前向きに取り組む**のです。今、**またもや先行きの見えない状況**になっています。いろいろな制約があり、やりたくてもやれないこともあるでしょう。でも、やれる日のために**準備**はできます。新しいことでなくても構いません。新年を機に、様々なことに**積極的にチャレンジ**してみましよう。

そして、来年は全世界の**すべての人に希望**が訪れることを期待しましょう。

今月7日の5時間目に、全ての教室で**タンポポコンサート**の動画を見ました。各学年が事前に演奏を録画し、それを45分に編集したものを鑑賞しました。初めて1年生全員の顔を見たという上級生や、反対に1年生にとっては初めて見る人が多かったことでしょう。**8カ月遅く**、また、動画ではありますが、これで**全校児童**がやっと**顔合わせ**ができました。



金管バンド